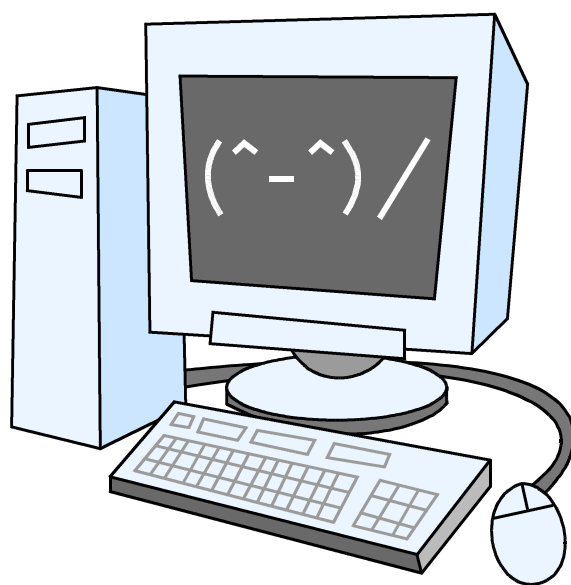


東京都小学校視聴覚教育研究会

ジャンル別ひな形指導計画集



平成20年1月20日
東京都小学校視聴覚教育研究会

目次

1. 情報モラル, 情報安全

- (1) メールのマナー・安全, 情報流出----- 1
- (2) 著作権----- 6
- (3) 取材の仕方----- 9

2. メディアリテラシー

- (1) ニュース作り----- 14
- (2) CM 調べ----- 17
- (3) 新聞作り----- 21
- (4) 新聞読み比べ----- 26
- (5) 1枚の写真----- 29

3. 情報機器導入指導

- (1) デジカメ導入指導----- 32
- (2) PCの基本操作----- 35
- (3) Web 検索----- 39

4. 東京おもしろマップ

- (1) 学区の取材, 投稿----- 43
- (2) 学区の取材, 投稿, 他校と交流----- 49
- (3) 地域で誇れるものを取材, 投稿, GT と交流----- 56
- <参考資料について>----- 62

1. 情報モラル, 情報安全
 - (1) メールのマナー・安全, 情報流出

第5, 6学年 総合的な学習の時間活動案

「情報モラルって何？」

情報モラルって何？（3時間）

★本単元は、学級活動＜内容（2）＞や総合的な学習の時間＜情報教育＞での学習を想定しています。対象学年は、5・6年生です。児童の実態を見て、授業を構成して下さい。

1. 目標

- ① インターネットでのマナーについて考える。
- ② メールの安全な利用について考える。
- ③ インターネットからの個人情報の流出について考える。

2. 指導計画

1	<p>★キーワード…誹謗中傷</p> <ol style="list-style-type: none"> ① チャットでのトラブルの例から問題点を考える。 ② 掲示板でのトラブルの例から問題点を考える。 ③ インターネットでのマナーについて考える。
2	<p>★キーワード…チェーンメール なりすまし</p> <ol style="list-style-type: none"> ① メールシミュレーションの方法を知る。 ② メールシミュレーションをする。 ③ チェーンメールについて知る。 ④ メールをやりとりするときの注意点について考える。
3	<p>★キーワード…個人情報</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ウェブサイトに個人情報を載せてしまう例から問題点を考える。 ② アンケートに答えてしまう例から問題点を考える。 ③ 架空請求の被害例から問題点を考える。 ④ 個人情報を守ることの大切さを理解する。

(1/3)

- (1) ねらい ① チャットでのトラブルの例から問題点を考える。
 ② 掲示板でのトラブルの例から問題点を考える。
 ③ インターネットでのマナーについて考える。
- (2) 本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・●評価
0	①チャットでのトラブルの例から問題点を考える。	<p>トラブル例をプロジェクタで提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友達とチャットをしていたら、ある言葉をきっかけにケンカになってしまった。</p> </div>
15	②掲示板でのトラブルの例から問題点を考える。	<p>トラブル例をプロジェクタで提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>掲示板に友達の悪口が書き込まれ、どんどんエスカレートしていった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>掲示板に自分の氏名や秘密が書き込まれてしまった。</p> </div>
35	③インターネットでのマナーについて考える。	<p>チャットや掲示板を利用するときのマナーに気づかせる。</p> <p>●インターネット上には悪口や個人情報を発信してはいけないということに気づいているか。</p>

(2/3)

- (1) ねらい ① メールシミュレーションの方法を知る。
 ② メールシミュレーションをする。
 ③ チェーンメールについて知る。
 ④ メールをやりとりするときの注意点について考える。
- (2) 本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・●評価
事前	メールシミュレーションの準備をする。	ニックネームなどの簡単なメールアドレスを決める。 座席表にメールアドレスを記入し配付（掲示）しておく。 ビニール袋を机の前に下げる。
0	①メールシミュレーションの方法を知る。	メールソフトの画面に見立てたメールカードを数枚渡し、自分のメールアドレス、宛先、件名、本文を必ず書き、友達の机の前に下げている袋の中に入れる。
10	②メールシミュレーションをする。	友達とメールのやりとりをする。担任も参加する。 ある程度時間がたったところで担任はチェーンメールを送る。
25	③チェーンメールについて考える。	チェーンメールを受け取った児童を確かめる。 チェーンメールの内容を確かめる。 何を考え、どのように対応したかを発言させる。
40	④メールをやりとりするときの注意点について考える。	チェーンメール以外の迷惑メールについて知らせる。 (スパムメール なりすましメール) メールをやりとりする時に、気をつけることを発言させる。 ●「画面の向こう側に人がいる」ことを意識しているか。

<メールカード>

宛先
送信者
件名
本文

(3/3)

- (1) ねらい ① ウェブサイトに個人情報を載せてしまう例から問題点を考える。
 ② アンケートに答えてしまう例から問題点を考える。
 ③ 架空請求の被害例から問題点を考える。
 ④ 個人情報を守ることの大切さを理解する。
- (2) 本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・●評価
0	①ウェブサイトに個人例から、問題点を考える。	<p>トラブル例をプロジェクトで提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>プロフィールサイトに顔写真、住所、電話番号を掲載したら、知らない人から自分を訪ねる電話がかかってきた</p> </div> <p>困っている点を明確にさせる。</p> <p>トラブルの原因を考えさせる。</p>
15	②アンケートに答えてしまう例から問題点を考える。	<p>トラブル例をプロジェクトで提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ウェブサイトのプレゼントコーナーに応募し、住所、氏名、電話番号、メールアドレスを入力したら勧誘の電話やダイレクトメールが届くようになった。</p> </div> <p>困っている点を明確にさせる。</p> <p>トラブルの原因を考えさせる。</p>
30	③架空請求の被害例から問題点を考える。	<p>トラブル例をプロジェクトで提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ウェブサイトのあるリンクをクリックしたら代金の請求メールが届いた。無視していたら、家に高額の請求書が届いた。</p> </div> <p>困っている点を明確にさせる。</p> <p>トラブルの原因を考えさせる。</p>
40	④個人情報を守ることの大切さを理解する。	<p>個人情報を守ることの大切さに気づかせる。</p> <p>●見知らぬ相手に個人情報を伝える危険性について気づいているか。</p>

1. 情報モラル, 情報安全
- (2) 著作権

第5, 6学年 総合的な学習の時間活動案

「著作権について考えよう」

第5, 6学年 総合的な学習の時間活動案

活動名：著作権について考えよう

1. 目標

著作権についての意味を知り，自らの意思で著作権を守ろうとする態度を養う。

2. 活動計画（4時間）

1	・自分たちの生活の中で，著作権に関わることがいくつもあることに気づく。 ・「著作権」に対し，賛成，反対の立場で自分の考えを持つ。
2	・賛成派，反対派のグループを作り，それぞれの意見をまとめる。
3	・賛成派，反対派，それぞれの意見を発表し，討論する。 ・著作物に関わる仕事をしているゲストティーチャーから，討論への感想や著作権に関する話を聞く。
4	・討論やゲストティーチャーの話を通じて，著作権に対してどのような思いを持ったかをまとめ，発表する。

3. 各時間の活動案

<第1時>

(1)ねらい

生活の中の著作権に気付き，自分の考えをもつ。

(2)本時の展開

分	活動内容	教師の支援・情報手段・評価
20	・持ち物等，身近なものについている「著作権明示」や「登録商標」のしるしを見つける。	・事前に身近な商品を集めさせる。
25	・音楽CD，ゲーム等のコピーについて，賛成，反対の立場で考えをもつ。	・身近な機器で，もとと変わらない複製品ができてしまうことについて，簡単に触れておく。

<第2時>

(1)ねらい

同じ考えを持つ者同士で，意見をまとめる。

(2)本時の展開

分	活動内容	教師の支援・情報手段・評価
15	・コピーに賛成の者と反対の者に分かれ，グループを作る。	
30	・グループごとに話し合い，自分たちの意見をまとめる。	・相手を説得することができるよう，明確な意見やその理由をまとめさせる。

<第3時>

(1)ねらい

- ・賛成，反対の立場を明確にしながら発表し，討論する。
- ・著作権の専門家の話を聞き，自分たちの意見について再考する。

(2)本時の展開

分	活動内容	教師の支援・情報手段・評価
30	・賛成派，反対派，それぞれが自分たちの意見を発表し，討論する。	・自分の考えとの違いに留意しながら発表を聞くようにさせる。
15	・著作権の専門家の話を聞き，法律との関連や，著作権者の生活，文化等，著作権侵害の影響について知る。	・著作権を侵しているという例やその金額を，ゲストティーチャーから示してもらう。 ・複製は法律違反になり得ることと同時に，作者の人権，生活を脅かすこと，文化の衰退を招きかねないことを児童に留意させる。

<第4時>

(1)ねらい

前時までの活動をもとに，著作権について抱いた考えをまとめ，発表し合う。

(2)本時の展開

分	活動内容	教師の支援・情報手段・評価
15	・前時までの活動について考えたことをまとめる。	・作者を守ることによって，より良い作品が生まれる環境ができることを理解させる。
30	・まとめたことを発表し合い，考えを深める。	・自分の意思で著作権を守ろうとする意思をもつことができたか。

1. 情報モラル, 情報安全
- (3) 取材の仕方

第3, 4学年 社会科学習指導案

「わたしたちのまち みんなのまち どんなまち」

第3, 4学年 社会科学習指導案

単元名：わたしたちのまち みんなのまち どんなまち

1. 目標

学校のまわりや区全体の様子に関心を持ち，地形や土地利用，目立つ建物，主な公共施設の場所と働き，交通の様子などについて調べたことを表現したり比べたりして，学校のまわりや区全体の様子は場所によって違いがあることを理解する。

2. 指導計画（5時間）

1	・学校のまわり（3年）や区全体（4年）の様子に関心をもつ。 ・課題を持つ→調べる対象を決める。
2	・調べたり発表したりする計画を立てる。→取材の際のマナーや安全について知る。 ・取材→放課後，休日の活用。保護者や地域の人たち等との連携。
3	・取材したことをまとめる。
4	・発表，比較→他者の発表を聞き，学校のまわり（3年）や区全体（4年）の様子は場所によって違いがあることを話し合う。
5	・自己評価→学校のまわり（3年）や区全体（4年）の様子を調べて，発表したり比べたりしたことを振り返り，自らの学習過程を評価する

3. 各時間の指導案

<第1時>

(1)ねらい

- ・学校のまわり（3年）や区全体（4年）の様子に関心を持ち，調べる対象を決める。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
20	・学校のまわり（3年）や区全体（4年）について知っていることを発表し合う。	・区全体については，学習サイト「東京おもしろマップ」の写真等を活用する。 http://teav.cside.com/tokyo/ （PC）
15	・学校のまわり（3年）や区全体（4年）について調べる視点を考える。 …地形や土地利用，目立つ建物，主な公共施設，交通の様子など	・児童の発言や気づきをもとにしながら，社会科としての視点に集約していく。
10	・調べる対象を決める。 …上記視点の中から興味，関心をもつことのできる対象を選ぶ。	・3年生は，興味，関心にもとづいて，自分の意思で決めることができたか。 ・4年生は，学区と他地区の違いを意識することができたか。

＜第2時＞

(1)ねらい

・学校のまわり（3年）や区全体（4年）の様子について、調べたり発表したりする計画を立てる。

・取材の際のマナーや安全について知る。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
10	・調べる対象ごとにグループを作り，リーダーや役割分担を決める。	・取材時に必要なことやものを考えさせる。（デジカメの紹介，使い方）
20	・取材計画を立てる。 …いつ，どこに，誰が，何を，どうやって ↳写真，見たこと，聞いたことを記録する	・放課後や休日を活用させる。 ・保護者，地域の人との協力を想定する。 ・デジカメの貸し出し計画も立てる。
15	・取材相手へのマナーや安全について，グループごとに話し合う。 ・発表計画を立てる。 …紙にまとめるか，PCを使うか考える。	・取材相手へのマナー，交通手段や現場での安全について考えることができたか。 ・紙の大きさ，筆記具の選択，PCソフトの概要等について，知らせる。
	・各グループで話し合ったことを発表する。 …自分たちが気づけなかったことに留意させる。	・自分たちがあてにしている保護者，地域の人について，下校後都合を確かめるようにさせる。

==取材時のマナーと安全==

・単元が始まる前に，保護者会，学年通信等を通じて，取材の目的や留意点を保護者に伝え，児童の取材活動への協力を依頼する。

・保護者以外の人への取材は，なるべく児童自身が頼んで差し支えない相手が望ましい。

（取材先が公共施設，チェーン店，大きな工場等，承諾が必要と思われる場合は，授業者が事前に連絡を取る）

・取材が始まる前に，各グループの取材計画を授業者が把握し，取材対象の人物，交通手段等，児童の安全に留意する。

＜放課後，休日＞

・あらかじめ，デジカメの電源確保，画質の設定，いらぬ画像の消去等を行う。

・グループ，又は個人で取材を行う。

・学区から外に出る場合は，必ず保護者や知り合いなどの大人に同伴してもらう。

・（4年生）区内全部を網羅する必要はないので，無理に遠い地域まで取材することはない。

・デジカメで撮影した画像ファイルをPCに移動するか，印刷しておく。

<第3時>

(1)ねらい

- ・取材したことをまとめ、発表の準備をする。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
10	・取材したことを整理し、何を伝えたいか、どのように並べるかを考える。	・取材結果から見えてくること、分かることに注目させる。
25	・発表に向け、紙やPCに取材したことをまとめる。	・字や絵について、教室の後ろからでも見える大きさを意識させる。
10	・発表に向け、役割分担を確認し、練習する。	・他者に伝わる発表にすることを意識して、練習できたか。

※取材した分量によっては、第3時が2時間必要な場合も考えられる。

<第4時>

(1)ねらい

- ・学校のまわり（3年）や区全体（4年）の様子についてまとめたことを発表する。
- ・他者の発表を聞いて、学校のまわり（3年）や区全体（4年）の様子は、場所によって違うことに気付く。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
5	・発表する側、聞く側にとって何が大切かを考える。	・聞き手に伝わる発表を心がけ、聞いたことをもとに考えるようにさせる。
30	・グループごとに発表する。 ・他者の発表を、それぞれ比べながら聞く。	・聞き手を意識して発表する。 ・場所によって違いがあることに注意しながら聞く。
10	・全部の発表を聞いて、気付いたことを話し合う。	・場所によって違いがあることを確認する。

<第5時>

(1)ねらい

- ・自らの学習活動について振り返り，自己評価する。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
10	・他者と自己の学習活動を比較し，振り返ることの大切さを知る。	・紙，又はP Cの提示資料が見えやすいように工夫しておく。
20	・自分たちや他のグループの作品，発表内容を再度見直し，比較する。	・課題の決め方，取材の仕方，まとめかた，発表の仕方等に留意させる。
15	・自分の学習活動がどうだったかを判断し，今後の学習に生かせるようにする。	・自分の良かった点や他者の優れた点に着目することができたか。

2. メディアリテラシー
- (1) ニュース作り

第5学年 国語科学習指導案

「ニュースを作って伝えよう」

第5学年 国語科学習指導案

単元名：ニュースを作って伝えよう

1. 目標

- ・自分の課題について調べて、ニュースの原稿として表すこと。(書くこと)
- ・自分の考えを資料を提示しながら人に伝えること。(話すこと)

2. 指導計画 (5時間)

1	・ニュースサイトを閲覧し、ニュース作りの要点を知る。 ・ニュースの題材(皆に伝えたいこと)を探し、取材の計画を立てる。
*	・取材計画に従って、放課後、休日を利用して取材する。
2	・取材したことを整理して、皆に伝えたいことを写真と文章で表現する。
3	・ 同上
4	・資料を提示しながら、皆に伝えたいことを発表する。
5	・ 同上

3. 各時間の指導案

<第1時>

(1)ねらい

- ・ニュース作りの要点を知る。
- ・皆に伝えたいことを決める。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
15	・大手新聞社のニュースサイトを閲覧し、気付いたことを話し合う。	・写真と文章によって構成されたニュースを何点か選んでおく。 [PC, 大型モニタ]
10	・ニュース作りの要点について話し合い、理解する。	・内容の価値, 5W1H, 写真の活用, 著作権, プライバシー保護等を理解することができたか。
20	・校内や学区のことで皆に伝えたいことを探し、取材の計画を立てる。 ・取材相手の都合を確かめるなど、取材マナーについて知る。	・例えば、校内や周辺住民のモラルやマナーに関する事など、直接取材が可能な視点を例示する。 ・取材先が校外の場合、保護者の協力を求めるなど、安全に留意する。

<放課後, 休日>

- ・取材計画に従って、放課後、休日を利用して取材する。
[取材用のメモ用紙, 筆記用具, デジタルカメラ, テープレコーダー等]
- ・デジカメの画像をPCに取り込む。[デジタルカメラ, PC]

＜第2時～第3時＞

(1)ねらい

- ・取材したことを整理（取捨選択）する。
- ・皆に伝えたいことを写真と文章で表現する。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
15	・皆に伝えたいことを明確にし，取材してきたことの内，必要と思われるものを選択する。	・伝えたいことに価値があるかどうか考えることができたか。 [写真はPCで選択して，印刷]
40	・皆に伝えたいことを写真と文章で表現する。（下書き）	・見出し，写真，写真の解説，本文，といった構成で書くことができたか。
35	・皆に伝えたいことを写真と文章で表現する。（清書）	・各校の実態にあった方法で清書する。 [※1参照]

[※1] 清書方法の例

- ・画用紙等に写真を貼り，文字は手書き。→壁新聞
- ・ジャストスマイルやホームページビルダーで写真や文字を編集。

→[ホームページビルダーのひな形](#)

└インターネットにつながったPC画面上でクリックして下さい

＜第4時～第5時＞

(1)ねらい

- ・資料を提示しながら，皆に伝えたいことを発表する。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
90	・写真や図を提示しながら，皆に伝えたいことを発表する。	・聞き手，読み手に内容が伝わるように発表できたか。 [壁新聞，又はPCと大型モニタ※2]
	・発表について思ったことを記録し，発表者に伝える。 *思ったこと＝内容について，提示した写真や図について，声の大きさ読む速さについて…等	・見た目の部分と，内容に関わることの双方について，思ったことを記録し，発表者に伝えることができたか。
	・ニュース作りの要点や，発表の仕方について振り返る。	・価値のあるニュースだったか，ウソや誇張はなかったか，人に伝わる発表だったか，などを判断できたか。

[※2]・ニュースの清書方法によって発表の形態は様々。

- ・個人発表や，グループ発表などの工夫。
- ・すべての発表を一気に行うか，朝学習等を利用して少しずつ行うか。

2. メディアリテラシー
(2) CM調べ

第6学年 総合的な学習の時間活動案

「テレビコマーシャルを調べよう」

第6学年 総合的な学習の時間活動案

活動名：テレビコマーシャルを調べよう

1. 目標

- ・テレビコマーシャルを批判的に読みとることができる。
- ・情報を鵜呑みにせず、主体的に判断する力を育てる。

2. 指導計画（5時間）

1	事前に得た情報で買い物をした体験談をもとに、買いたくなかった理由を話し合う。
2	テレビコマーシャルを視聴し、どのような点について注目すべきかを話し合う。
3	コマーシャルごとにグループを作り、どんな工夫がしてあるか詳しく調べる。
4	コマーシャルを見る時に、どのようなことに注意すべきかを話し合い、グループごとにまとめる。
5	コマーシャルを詳しく調べて分かったことを発表し合い、これからの買い物に生かせることをまとめる。

3. 各時間の指導案

<第1時>

(1)ねらい

商品を買うきっかけを考え、買いたくなかった理由を話し合う。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
15	・買い物で品物を選ぶ時、注意していることを発表する。 ・情報を知る方法を発表する。	・家庭科の学習等と関連させて考えさせる。 ・経験を自由に話させる。
15	・得た情報から買いたくなかった経験や、情報を信じて買って失敗した経験を話し合う。	・思い出せない場合は教師の経験を話す。
15	・得た情報から買いたくなかった理由を考え、話し合う。 「使いやすそうに思えた」 「とてもおいしそうに思えた」	・商品選びに失敗しないために、その原因を考えさせる。 ・コマーシャルをとりあげ、情報を得るときに注意することを考えていくことを伝える。

<第2時>

(1)ねらい

普段よく目にするテレビコマーシャルについて、どんな点に注目したらよいかを考える。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
10	・コマーシャルを視聴する。 ・コマーシャルを視聴した印象を発表する。	・ワークシートを配布しメモできるようにする
20	・コマーシャルの内容から、分かることを発表する。 ・コマーシャルの内容だけでは分からないことを発表する。 (味, 手触り, 肌触り等, 実際に体験できない事, その他)	・品物を買う時に必要な事から考えるよう促す。 ・何でこんなコマーシャルにしたのか投げかける。
15	・コマーシャルについての感想をまとめる。	・ほかのコマーシャルもそうか調べることに関心を高めていく。

<第3時>

(1)ねらい

コマーシャルを更に詳しく調べようとする意欲をもつ。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
15	・特徴あるコマーシャルごとにグループを作る。	・コマーシャルの映像や音声の効果や工夫を中心に調べるように促す。
30	・選んだコマーシャルについて、グループごとに詳しく調べる。	・コマーシャルに関するホームページなども紹介する。

<第4時>

(1)ねらい

コマーシャルを見る時、どんなことに注意したらよいかを考える。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
	・詳しく調べたコマーシャルについて、どんなことに注意したらよいかを話し合う。 ・話し合ったことをまとめ、発表の準備をする。	・良い面だけを見ていてよいのか、他に注意すべきことはないのか、ということに目を向けさせる。 ・コマーシャルの特徴をポスターやP C画面で表現し、スピーチの内容を視覚的に分かりやすくできるよう促す。

<第5時>

(1)ねらい

情報を鵜呑みにせず，批判的に見ることができる。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
20	・調べた結果をグループごとに発表し合う。	
15	・コマーシャルの役目について全体で話し合う。 「商品の良さを強調する」 「名前を覚えてもらう」 「買ってもらう」 「イメージアップを図る」	・コマーシャルは，購買意欲を高めていることを捉えさせる。 ・マイナスのイメージは入れていないことを捉えさせる。 ・コマーシャルによっては，品物についてよりイメージアップをねらったものもあることを伝える。
10	・コマーシャルから情報を得るとき注意しなければならない点をまとめる。	・コマーシャルを批判的に見ることができるようになったか。

2. メディアリテラシー
(3) 新聞作り

第4学年 国語科学習指導案

伝えたいことをはっきりさせよう

「新聞で伝えよう」

第4学年 国語科学習指導案

単元名：伝えたいことをはっきりさせよう「新聞で伝えよう」

1. 目標

- ・移動教室での思い出の中で、自分の伝えたいことを明確にして、新聞を作ることができる。↳学校の実態に応じて決める
- ・読者を想定して新聞記事を適切に書くことができる。
- ・見出しや写真、絵などを工夫し、視覚的にも読み手にうったえることができる。

2. 指導計画（6時間）

1	事前授業：移動教室後に行う新聞作りに向け、新聞の特徴や工夫について調べる。 移動教室：新聞作りに向け取材する。（撮影、インタビュー、スケッチ等）
2	移動教室を振り返り、伝えたいことを決め、グループ作りをする。
3	グループごとに記事を決定し、割り付けをして、担当者を決める。
4	グループごとに見出しと本文の下書きをする。
5	グループごとに下書きの読み合わせをして、必要に応じて修正する。
6	清書した新聞について相互評価したり、自己評価したりする。

3. 各時間の指導案

<第1時>

(1)ねらい

移動教室後に行う新聞作りに向け、新聞の特徴や工夫について調べる。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
10	・新聞を作りを通して、伝えたいことを明確にして表現する学習について考える。	・移動教室の思い出を新聞の記事にする学習の見通しを立てさせる。
20	・実際の新聞を見て、新聞の特徴や工夫について調べる。 ・誰に伝えたいかを考え、新聞の読み手意識する。	・見出し、写真、割り付けなどの工夫の仕方に気づくことができたか。 ・新聞の特徴や工夫が分かりやすい面（社会面等）をあらかじめ選んでおく。 ・他学年の児童、保護者、他校の児童等を想定させる。
15	・取材の計画を立てる。 (デジタルカメラの機能を知る)	・新聞を作るために、移動教室でどんなことをしてくる必要があるか考え、準備することができたか。(写真、インタビュー、スケッチ等) ・デジタルカメラを使えることを知らせる

<移動教室での取材>

- ・伝えたい場所やものの写真を撮ろう。
- ・訪問先の方々にインタビューしよう。
- ・スケッチしておこう。

※児童が撮影したデジタルカメラの画像は、コンピュータに保存したり、印刷したりしておく。

<第2時>

(1)ねらい

移動教室を振り返り、伝えたいことを決める。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
10	・移動教室の思い出を語り合い、取材してきたことを紹介し合う。	・ハイキングや見学、宿舎での出来事などを振り返らせる。
15	・取材してきたことから自分が伝えたいことを選ぶ。	・移動教室で取材した材料をもとに、それを生かして伝えたいことを選ぶことができたか。
20	・新聞作りのグループ作りをする。	・記事の内容で分けるか、伝えたい相手によって分けるか、相談させる。

<第3時>

(1)ねらい

記事の内容によって、どのように割り付けをしたらよいか考える。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
15	・グループごとに、どのような記事を取り上げるか相談し、決定する。	・移動教室で取材してきたことを確認し、伝えたいことは何かをよく考えるようにさせる。
20	・紙面の割り付けをする。 (見出し、本文、写真、スケッチ等を意識しながら決める)	・伝えたいと想定した相手が、どんな内容に興味、関心をもつかを想定しながら、割り付けることができたか。
10	・記事の担当者を決める。	・取材に関わった児童を優先して決められるようにさせる。

<第4時>

(1)ねらい

グループごとに見出しと本文の下書きをする。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
10	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の新聞を見て、その特徴や工夫を再度確認する。 ・本文の内容には、記事ごとに共通した工夫があることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見出しで、見る人を引き付けていることに気づくことができたか。 ・「いつ、どこで、だれが、何を、なぜ、どうした」などの基本的な文章構成が含まれていることに気づかせ、確認させる。 ・事実と、感想や意見を区別して書いているか確認させる。
30	<ul style="list-style-type: none"> ・記事の下書き（見出しと本文）を、各自が行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見出しと本文が連動するように工夫することができたか。 ・読み手を引き付ける見出しになるよう工夫させる。 ・与えられた割り付けの中で、見出しの大きさや位置を考え、時数の調整を行うことができ方か。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の特徴や工夫を考えながら、自分の下書きを見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下書きはまだ途中という意識を持たせる。

<第5時>

(1)ねらい

記事をより良くするための話し合いをする。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
10	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、下書き記事を読み合う。（伝えたいことの明確さ、読み手を意識、5W1H、事実と感想の区別等に留意する） 	<ul style="list-style-type: none"> ・記事をより良くするための視点を明確にしておく。
25	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに改善点を指摘し合い、意見交換する。 ・指摘された点を吟味し、必要に応じて下書きを修正する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナス面の指摘は、言う方が慎重に言葉を選び、言われた方は前向きに受け取ることが大切であることを知らせる。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・下書きの修正が終わった児童から、新聞の清書を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同時並行で作業を進められるよう工夫する。（割り付けられた場所と同じ大きさ、同じ形の紙に清書していく等）

<第6時>

(1)ねらい

新聞を発表し合い，相互評価，自己評価を行う。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
15	・新聞の清書を完成する。	・能率よく作業できるよう工夫することができたか。
20	・完成した新聞を掲示し，自分たちの新聞と他のグループの新聞を読み比べる。 ・気付いたことを付箋紙に書いて，新聞の記事に貼り付ける。	・実際の新聞の特徴や工夫が生かされているか。 ・伝えたいことの明確さ，読み手を意識，5W1H，事実と感想の区別等が達成できているか。
10	・他者からの評価を読んで，自分の記事に対する評価を行う。	・新聞作りを通じて，伝えたいことを表現することについて，大切な点をまとめさせる。

2. メディアリテラシー
(4) 新聞読み比べ

第6学年 総合的な学習の時間活動案

「新聞記事を読み比べよう」

第6学年 総合的な学習の時間活動案

活動名：新聞記事を読み比べよう

1. 目標

複数の情報を集め、読み比べ、情報を主体的に判断する力を育てる。

2. 活動計画（4時間）

1	1日分の新聞の記事の数を内容別に分類し、調べる。
2	新聞の中の記事を比べ、内容の量、見出しの大きさ・かざり、写真の大きさ・色などの違いを見つける。
3	同じ出来事を扱った複数の新聞記事を比べて読む。
4	新聞記事から情報を判断する時の注意点をまとめ、他のメディアについても考える。

3. 各時間の活動案

<第1時>

(1)ねらい

新聞記事はどのように分類されているかを調べる。

(2)本時の展開

分	活動内容	教師の支援・情報手段・評価
10	新聞社ごとにグループを作り、持ち寄った新聞記事を読む。	見出しとおおよその内容から、要旨を読み取るようにさせる。
20	新聞記事は、内容ごとにどのように分類することができるか、グループで話し合う。	普段、あまり関心をもたないような内容もあることに目を向けさせる。
15	新聞社ごとにグループで調べたことを発表し、気付いたことを話し合う。	会社が違っても、ほぼ同じ分類になっていることに気付くことができたか。

<第2時>

(1)ねらい

記事には、内容の量、見出しの大きさ、写真の大きさなどの違いがあることに気付く。

(2)本時の展開

分	活動内容	教師の支援・情報手段・評価
15	グループごとに社会面、スポーツ面等を決めて、一つ一つの記事を線で囲ってみる。	グループごとに4、5色のペンを用意し、色分けできるようにする。
15	同じ面の中で、それぞれの記事がどのように扱われているか、グループで話し合う。	内容そのものよりも、見た目の印象について話し合うようにする。
15	グループごとに話し合ったことを発表し、気付いたことをまとめていく。	各記事について、内容の量、見出しの大きさ・かざり、写真の大きさ・色などの違いを見つけることができたか。

<第3時>

(1)ねらい

同じ出来事を扱った複数の新聞記事を読み比べることで、扱い方の違いに気づく。

(2)本時の展開

分	活動内容	教師の支援・情報手段・評価
10	各新聞社に共通の記事を見つけ、グループごとに線で囲う。	扱いの大きさ、内容面の違いが明確な2, 3の記事を、できればあらかじめ見つけておき、児童に注目させる。 *政治, 外交, 宗教上等の問題で、世論が割れている話題は避ける。 *特定の個人, 企業, 団体等に関する話題には充分配慮する。
20	グループごとに新聞を交換しながら、共通記事を読み比べ、気付いたことをメモしたり、話し合ったりする。	見た目の扱いとともに、内容面での違いを重視するよう促す。
15	グループごとに、共通記事を読み比べて気付いたことを発表し、意見交換する。	見た目の扱いと内容について、会社によって違いがあることに気付けたか。 *違いがそのまま新聞社ごとの善し悪しに結びついてしまわないよう配慮する。

<第4時>

(1)ねらい

新聞記事から情報を判断する時の注意点をまとめ、他のメディアについても考える。

(2)本時の展開

分	活動内容	教師の支援・情報手段・評価
10	前時に気付いたことを思い出し、他にも新聞記事のようなことはないか、考える。 →具体例にこだわらず、新聞以外のメディアの存在に気付く程度でよい。	同じ内容を扱った記事でも、新聞社によって違いがあることを思い起こさせ、普段の生活の中で、他のメディアにも同じようなことがないか考えさせる。
10	大勢の人が見たり読んだりするものについて話し合い、注意した方がよいことはないかを考える。	テレビや雑誌、Webサイト等にも新聞記事と同じような違いはないか、考えることができたか。
25	マスメディアにおける具体例を見ながら、情報に接するときの注意点をまとめる。	授業者が用意した具体例を見せながら、一つのメディアだけで判断することの問題点に気付かせる。

2. メディアリテラシー
(5) 1枚の写真

第5学年 総合的な学習の時間活動案

「1枚の写真から」

第5学年 総合的な学習の時間活動案

活動名：1枚の写真から

1. 目標

- ・同じ写真を見ても，人によって様々な感じ方があることに気づく。
- ・写真だけでは，分からない情報があることに気づく。
- ・身の回りにある写真などの情報を見たときに，その情報を鵜呑みにしない態度を育てる。

2. 活動計画（3時間）

1	1枚の写真を見て，同じ写真を見ても，人によって受ける印象が違うことを知る。
2	写真から情報を読み取るとき，人によって想像していることが違うことを知る。
3	身近な情報をどのようにとらえたらよいかを考える。

3. 各時間の活動案

<第1時>

(1)ねらい

同じ写真を見ても人によって受ける印象が違うことを知る。

(2)本時の展開

分	活動内容	教師の支援・情報手段・評価
10	・食べ物写真などで第一印象を書く練習をする。	・様々な情報が読みとれる写真をあらかじめ用意しておく。(食べ物写真)
25	・公園写真を見て，第一印象をワークシートに書く。 ・第一印象を発表し合う。	・(公園写真) …広さ，時刻，自然，遊び，環境などの要素が入るようにする。 …授業者が実際に撮影し，画面以外の部分についても，細かくメモを取るなど，記録しておく。 ・パッと見たときに感じたことをそのまま書くようにさせる。
10	・同じ写真を見ても，人によって受ける印象が違うことを知る。	・どの見方がよいとか，よくないとかの位置づけはしないようにする。

<第2時>

(1)ねらい

写真から情報を読み取るとき、人によって想像していることが違うことを知る。

(2)本時の展開

分	活動内容	教師の支援・情報手段・評価
15	・「公園の写真」から読み取れる情報や、想像できる情報をワークシートに書き入れる。	・実際に写っていることと、想像したことを分けて書くようにさせる。
20	・読みとった情報や想像した情報を発表し合い、整理する。	・実際に写っていることは、正確に読み取らせる。 ・想像したことは、大きく矛盾していなければ幅広く認めていくようにする。
10	・人によって想像していることが違うことを知る。	・想像する楽しさがあると同時に、場合によっては困ることもあるのではないかと、という点にも留意する。

<第3時>

(1)ねらい

身近な情報をどのようにとらえたらよいかを考える。

(2)本時の展開

分	活動内容	教師の支援・情報手段・評価
	・「公園の写真」の場所についての情報を、実際に写した授業者から聞く。 ・写真だけでは分からないこともあることに気づく。	・児童が想像した部分と比べながら、写真に写っていない部分について、実際の様子を話して聞かせる。
	・写真などの映像を見て、人によって異なる感じ方をしたり、勘違いなどをした経験について発表し合う。	・新聞や雑誌、テレビ等の広告、スーパーマーケットのチラシ、ガイドブックと実際のテーマパークなど、身近な例を想起させる。
	・今後、写真などの映像を見る場合に、注意することを考える。	・第一印象や、写真に写っていない部分を都合よく想像してしまわないようにすることが大切。

3. 情報機器導入指導
- (1) デジカメ導入指導

第1学年 国語科学習指導案

「学校カルタを作ろう」

第1学年 国語科学習指導案

単元名：学校カルタを作ろう

1. 目標

- ・言葉を連想して、楽しくカルタ作りをする。
- ・デジタルカメラを使って、学校の風景を撮影し、絵札をつくる。

2. 指導計画（5時間）

1	来年の1年生のために学校を紹介するジャンボカルタを作ろう。
2	デジタルカメラを使ってみよう。
3	デジタルカメラで絵札の部分の写真を撮る。
4	撮影した写真をみんなで見合っ、よりよくするために話し合う。
5	発表してみよう。

3. 各時間の指導案

<第1時>

(1)ねらい

- ・来年の1年生のためにジャンボカルタを作る目標を持つ。
- ・各自のイメージをカルタ向けの文で表す。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
10	・どんなカルタにするか話し合う。	・書くことが楽しいと思えるように、カルタの例を紹介する。
35	・イメージした様子をリズム感や語感よく文にする。	・よけいな言葉は省くように指示する。 ・思ったことや様子を表す言葉も入れるようにする。

<第2時>

(1)ねらい

- ・デジタルカメラの使い方を身に付ける。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
20	・カルタの文に適した画像をイメージする。 ・デジタルカメラの使い方を知る。	・文と画像の結びつきを考えさせる。 ・デジタルカメラの模型を作ってわかりやすく説明する。
25	・デジタルカメラを使って、より上手に写真を撮るには、どうしたらよいか、考える。	・前もって教師が用意しておいた失敗した例を見せ、正しい撮影の仕方を提示する。

<第3時>

(1)ねらい

- ・読み札に適した絵札の画像を考え、撮影する。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
45	デジタルカメラで絵札の部分の写真を撮る。 必要な写真をデジタルカメラで撮影する。	・読み札に合うような、風景を再度よく考えさせる。 ・デジタルカメラの撮り直しが容易な点を、子どもたちに充分伝えておく。

<第4時>

(1)ねらい

- ・撮った写真について、よりよくするために話し合う。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
20	・撮影した写真をみんなで見合っ、どうするか話し合う。	・撮ってきた画像を、すぐに見合えるような環境を、教室に整えておく。
25	・撮影し直したり、決まったものを並べたり、言葉を考えたりする。	・撮影し直した方がよい作品を選び、どうしたらよいか考えながら撮影するように助言する。

<第5時>

(1)ねらい

- ・来年の1年生にも分かるように工夫しながら学校カルタを発表する。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
45	・発表会を開いて、できあがったカルタで遊ぶ。	・年下の1年生にも分かるように、工夫しながら発表することができたか。

3. 情報機器導入指導
(2) PCの基本操作

第3, 4学年 総合的な学習の時間活動案

「コンピュータを使ってみよう」

第3, 4学年 総合的な学習の時間活動案

活動名：コンピュータを使ってみよう

1. 目標

- ・コンピュータの起動, 終了, マウスの操作方法を知る。
- ・コンピュータの文字入力に慣れる。
- ・ファイルに保存したり, ファイルを開いたりすることができる。
- ・文書等を印刷することができる。

2. 指導計画 (5時間)

1	コンピュータの起動, 終了, マウスの操作方法を知る。
2	コンピュータの文字入力に慣れる。(平仮名と数字)
3	〃 (カナ漢字変換)
4	ファイルに保存したり, ファイルを開いたりすることができる。
5	文書等を印刷することができる。

3. 各時間の指導案

<第1時>

(1)ねらい

コンピュータの起動, 終了, マウスの操作方法を知る。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
5	・コンピュータ室の使い方について思ったことを発表し合い, 守れるようにする。	手や服に砂や泥が付いていたら, クレイにする。上履きは所定の所へ。 機械を大切に扱う。キャスター付きイスで回ったり移動したりしない。等
35	・コンピュータの起動について知る。 (起動中に, 画面, キーボード, マウス等の名前を知る) ・マウスの操作方法を知る。 (例: ペイントを起動して線を描いてみる。ペイントの範囲指定を体験する) ・コンピュータの終了方法について知る。	・起動完了まで, 相当の時間がかかるので, 機械に触らないで待つ。 ・画面上の矢印の動かし方, 左クリックの仕方, ダブルクリックの仕方, ドラッグの仕方。等 ・電源ボタンを押さずに, スタートをクリックするところから終了方法を知らせる。終了中機械に触らない。
5	・コンピュータ室の使い方, コンピュータの起動, 終了等について, おさらいをする。	・コンピュータはみんなで使うものなので大切にしよう, という気持ちを持たせる。

<第2時>

(1)ねらい

コンピュータの文字入力に慣れる。(平仮名と数字)

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
10	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの画面に、文字を入力できることを知る。 ・半角英数モードと全角モードがあることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータで日本語入力できることは、学習や多くの職業で必須のものになりつつあることを知らせる。 ・画面上に表示された文字や記号をクリックする方法と、キーボードから直接入力する方法があることを知る。
30	<ul style="list-style-type: none"> ・半角英数モードと全角モードの切り替え方法を知る。 <p><主に3年生>画面上の文字等をクリックする方法を知る。</p> <p><主に4年生>キーボードからローマ字入力する方法を知る。</p> <p>(例：メモ帳で平仮名や数字を入力する)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータによって、入力モードの切り替えや画面上の文字等を表示させる方法が異なることに留意する。 ・デリートとバックスペースの機能について理解させる。 ・ローマ字入力は、国語でローマ字を習ってから行うことが望ましい。カナ入力は避ける。 ・カナ漢字変換は行わない。
5	コンピュータの画面上に文字や数字を入力する方法をおさらいする。	アルファベット以外の文字を使う国民は、入力モードの切り替えが必須であることを知らせる。

<第3時>

(1)ねらい

コンピュータの文字入力に慣れる。(カナ漢字変換)

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
5	日本の文字には、仮名、漢字、ローマ字があり、数字と記号を織り交ぜて入力する必要があることを知る。	仮名漢字交じり文を入力できて、初めて普段書いたり読んだりしている日本語になることを理解させる。
35	<ul style="list-style-type: none"> ・文を音読しながら、文節で区切る感覚を体験する。 ・文節ごとに漢字変換しながら短文を入力する。 <p>(例：メモ帳の利用)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、低学年国語の分かち書きの文例を用意しておく。 ・誤変換時に文節の区切り方を変える方法については、児童の実態に合わせて紹介する。
5	仮名漢字変換の仕方についておさらいをする。	誤変換時は、削除してから打ち直すほうが速い場合が多いことに触れる。

<第4時>

(1)ねらい

ファイルに保存したり，ファイルを開いたりすることができる。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
10	・コンピュータには，ファイルに保存したり，ファイルを開いたりする機能があることを知る。	・書きかけの文書等は，そのままコンピュータの電源を切ると消えてしまうことを知らせる。
25	・マウスで線を描いたり，キーボード等で文章入力したりしたものを，ファイルに保存する。 ・保存されたファイルを，コンピュータの画面上に呼び出して，更に書き加えたり，書き換えたりする。	・指定されたフォルダの中に入っていく操作が必要なことを知らせる。 ・ファイルには名前を付けることを知らせる。 ・ファイルを正確に定義することは難しいが，ソフトを使う場合頻繁に出てくる用語なので，別の言葉に言い換えず，授業の中で自然に使えるようにしていくべきと考える。
10	・ファイルに保存したり，ファイルを開いたりする操作のおさらいをする。	・コンピュータを使うとき，ファイルとともにフォルダにも慣れていく必要があることを知らせる。 ・コンピュータの不具合で入力途中の絵や文章が消えてしまうことがあるので，こまめに保存することを心がけさせる。

<第5時>

(1)ねらい

文書等を印刷することができる。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
10	絵や文書が完成したら，紙に印刷できることを知る。	多くの場合A4サイズだが，他のサイズにも変えられることを知らせる。
25	出来上がった絵や文書を印刷してみる。	印刷はすぐには始まらないので，印刷ボタンを何度もクリックすると，同じものが何枚も出てきてもったいないことを知らせる。
10	印刷された作品を掲示して，自分や友達の仕事について感想を述べ合う。	自分にはない工夫を見つけたら，作り手を賞賛したり，次の作品に生かそうとすることができたか。

3. 情報機器導入指導
(3) Web 検索

第6学年 理科学習指導案

「土地のつくりと変化」

(第4次：火山活動と地震活動)

第6学年 理科学習指導案

単元名：土地のつくりと変化（第4次：火山活動と地震活動）

1. 目標（第4次）

- ・自然災害と関係付けながら，土地のつくりと変化についての考えを持つようにする。
- ・自然災害と土地の変化についてインターネットで調べ，考えをまとめることができる。

2. 指導計画（第4次：5時間）

1	火山と地震から連想する言葉を拾い出し，学習課題を見つける。
2	連想語を用いて Web 検索を行い，課題解決に取り組む。
3	同上
4	Web 検索で得た情報を，写真，図画，説明文の組み合わせでまとめる。
5	まとめたことを発表し合い，考えを深める。

3. 各時間の指導案

<第1時>

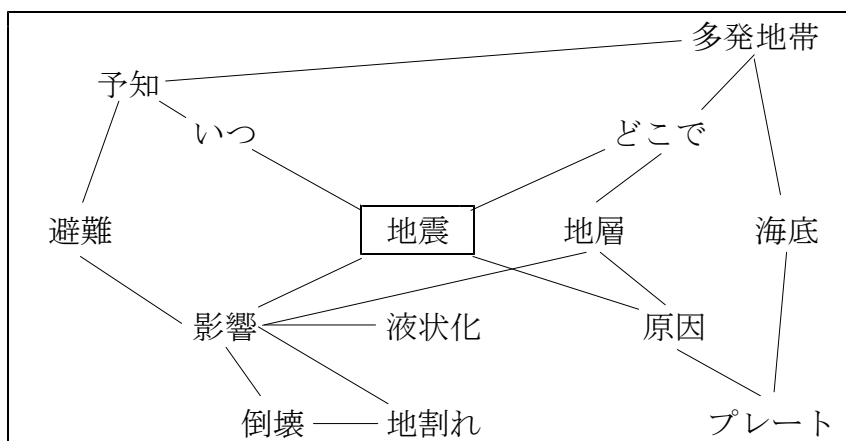
(1)ねらい

- ・火山と地震について連想したことから学習課題を見つける。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
5	・火山の噴火，地震災害の写真を見ながら，連想したことを発表し合う。	・(例) 三宅島の噴火の写真と阪神，淡路大震災の写真を見て，火山と地震について思ったことを発表できたか。
25	・連想語をワークシート（ウェブ図）に書き出し，分類したり関連づけたりする。	・ウェブ図：中心の言葉（火山，地震）から連想した言葉を次々に書き，線で囲ったり結んだりする。
15	・火山か地震を選び，分類したり関連づけたりしたことから学習課題を見つける。	・噴火や地震の仕組みと地層や人間等への影響に，関心を向けることができたか。

<ウェブ図>



＜第2時～第3時＞

(1)ねらい

- ・課題解決に向け、Web サイトの情報を連想語をもとに検索し、記録する。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
60	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブ図の連想語から、課題解決に関わるキーワードを選び、Web 検索を行う。(見つけた情報…写真, 図画, 説明文…を PC に保存する) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供用検索サイトにキーワードを入力し、必要な情報を探し出すことができたか。※1 (インターネットにつながった PC)
30	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の中の難語を拾い出し、理解可能な説明を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Web 上の情報を理解可能な内容として、読み取ることができたか。 (国語辞典, Web 上の国語辞典, PC 上の百科事典等)

※1

- ・子供用検索サイト (例)

不適切な Web サイトを検索してしまわないよう、以下のような子供用サイトを利用することが望ましい。

キッズグー <http://kids.goo.ne.jp/>

ヤフーキッズ <http://kids.yahoo.co.jp/>

- ・キーワードの組み合わせ

授業者が児童の設定した課題をあらかじめ把握し、それらに適した Web サイトを事前に探し出しておくことは、ぜひとも行っておきたい。

その際、その Web サイトを検索したキーワードをメモしておくことがポイント。2語以上のキーワードで効率よく検索できることも、授業中に触れられるとよい。

- ・ホワイトリスト (最適な Web サイトをリストアップしたもの)

PC 環境, 児童の実態, 時数の問題等から, 児童による Web 検索まではできない場合, 授業の内容に適した Web サイトの URL を, 事前に学校ホームページ等に貼り付けて (リンク付けして) おくと, 児童は迷わず目的の Web サイトを閲覧することができる。←あくまでもやむを得ない場合の措置であり, 学習方法としての Web 検索を身に付けることはできにくい。

<第4時>

(1)ねらい

- ・集めた情報を整理して、課題解決の結果をまとめる。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
10	・課題解決に適した情報を取捨選択する。 (写真, 図画, 説明文を選び出す)	・PCに保存した情報を必要に応じて選び出すことができたか。
25	・選んだ情報を人に伝えられるように並び替え, 画用紙, PC画面等に表す。	・課題解決への取り組みを, 他者に伝えられるように構成できたか。 (画用紙で表す児童には, 写真や図画を印刷できるようにしておく)
10	・画用紙やPC画面を提示しながら発表できるように, 準備する。	・聞き手を意識しながら, どの資料を提示し, どのように話すかを考えることができたか。

◎第4時は, 2単位時間を要する可能性がある。

クラスの実態, 授業者が期待する発表の形態等から, 第4時以降は個人作業か, 似た課題をもつグループによる作業かを選択する。

<第5時>

(1)ねらい

・課題に沿ってまとめたことを発表し合い, 火山噴火や地震の仕組みと地層や人間等への影響について, 考えを深める。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
5	・発表の仕方や聞き手の在り方について話し合い, 確認する。	・話し手, 聞き手双方に必要なことは何かを考えることができたか。 (メモ用ワークシートの準備)
30	・課題に沿ってまとめたことを, 資料を提示しながら発表し合う。	・聞き手に伝わる発表になったか。 興味, 関心を持って発表を聞くことができたか。 (必要に応じてPC, 大型モニタを準備)
10	・発表を振り返り, 火山噴火や地震の仕組みと地層や人間等への影響について, 考えを深める。	・発表し合ったこと, メモしたことをもとに, 考えを深めることができたか。

◎第5時は, 発表の形態によって2~3単位時間を要する可能性がある。

4. 東京おもしろマップ
(1) 学区の取材, 投稿

第3学年 社会科学習指導案

「すてきな〇〇学区」を
東京おもしろマップで発表しよう

第3学年 社会科学習指導案

単元名：「すてきな〇〇学区」を東京おもしろマップで発表しよう

1. 目標

他学区との違いを意識して自分達の住んでいる地域を観察・調査し、その特色を発見するとともに、調べたことを東京おもしろマップで発表し、表現する能力を身につける。

2. 指導計画（6時間）

*時数は目安です。弾力的に調整してください。

1	<つかむ>東京おもしろマップで区（市町村）内の様子を知ろう 東京おもしろマップで区（市町村）の様子を知り、自分達の地域を調べようという意欲を高める。
	<とりくむ>一土日祝日、放課後 学区内の様子を調べ、「発見カード」に記入する。
2	<とりくむ>町探検の計画を立てよう 「発見カード」に記入された内容から、自分の行きたい場所を決め、班作りを行う。 デジタルカメラの使い方を学ぶ。
3	<とりくむ>町探検をしよう
4	班ごとに町探検を行う。調べたい場所で写真やメモをとる。
5	<とりくむ>調べてきたことをまとめよう 東京おもしろマップに投稿する写真や説明文をまとめる。
6	<とりくむ><ふりかえる>すてきな〇〇学区を発表しよう 班ごとに掲載された内容を発表する。今までの学習をふりかえって自分達の地域の特色を考える。

*事前に、東京おもしろマップ投稿の申請を都小視研に行う。

==手続き==

学校長の許可を得てから、 sankakou@teav.cside.com に依頼メールを送る。

3. 各時間の指導案

<第1時>

(1)ねらい

東京おもしろマップで区（市町村）内の様子を知ること、自分達の住んでいる地域を調べようとする意欲を高める。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
15	1. ガイダンス 東京おもしろマップで区（市町村）内の様子を閲覧する。	<ul style="list-style-type: none"> 区内にも様々な特徴があることを捉えさせる。 PC、インターネットエクスプローラ、東京おもしろマップ 関心を持って閲覧することができたか。
15	2. 課題をつかむ 自分達の学区内にはどんな特徴があるか考える（「すてきな〇〇学区」）。	<ul style="list-style-type: none"> 自分達の地域と比較して、同じところや違うところはないか考えさせる。 この時点では、特徴を捉えるのは難しいと思われるので、実際調査するように促して、意欲を高めさせる。 進んで特徴を考えることができたか。
15	3. 事前調査の説明 自分達の学区にある特徴的な建物や場所の調べ方を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 「発見カード」を配布し、どのように調べてくるか説明する。

<土日祝日、放課後>事前調査

- 学区内での特徴的な建物や場所を探してくる。ここではまだ詳しく調べる必要はなく、学区のどのあたりにあるのかわかればよい。
- 交通事故、不審者等への安全指導を事前に行っておく。

<第2時>

(1)ねらい

町探検の計画を立てるとともに、デジタルカメラの使い方を学ぶ。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
20	1. 事前調査結果から計画を立てる 学区の地図に貼られた発見カードをみて、見学したい場所を決める。同じ場所を見学する者同士で班作りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 発見カードは事前に回収し、地図に貼り付けておく。 意欲的に調べたい場所を決め、協力して班作りができたか。
20	2. デジタルカメラの使い方を学ぶ 各班で説明をよく読みながら実際に撮影してみる。	<ul style="list-style-type: none"> デジタルカメラの使い方については、下記のアドレスを参照。 http://teav.csides.com/tokyo/image.jpg PC、インターネットエクスプローラ、東京おもしろマップ学び方カード 正しい使い方を理解し、撮影をすることができたか。
5	3. 町探検をするにあたって 安全面のルールや人と接するときのマナーを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 町探検への意欲が高まり、その際の安全面や礼儀を考えることができたか。

*町探検の班が多くなる場合は、保護者に引率を協力してもらってもよい。

*町探検で行く場所には事前に実施する旨を伝えておく。

<第3・4時>

(1)ねらい

町探検を通して、学区内の特徴的な建物や場所があることを知る。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
10	1. 事前指導 町探検でのルールやマナー、デジタルカメラの使い方等を再確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が引率する場合には、子どもと一緒に事前指導に参加してもらおう。 デジタルカメラ
70	2. 町探検 調べたい場所へ行き、写真撮影をしたりメモをとったりする。	<ul style="list-style-type: none"> 授業者は学区内を巡回する者と学校に残る者など役割を分担しておくとうよい。 班で協力し、興味をもって写真撮影したりメモをとったりしているか。
10	3. 記録の整理 写真やメモを整理し、次時にまとめやすいようにしておく。	<ul style="list-style-type: none"> 写真は次時まで担任がプリントアウトしておく。

<第5時>

(1)ねらい

町探検で調べてきたことを、相手に伝わるように意識してまとめる。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
15	1. 写真を選ぶ 撮影してきた中から、特に伝えたいものを選ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「すてきな〇〇学区」を思い起こさせ、どんなことを伝えられるか考えながら選ばせる。 ・ しっかりした根拠をもって写真を選べたか。
20	2. 説明文を考える 読む相手に伝わりやすいように意識してわかりやすい説明文を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京おもしろマップで子どもの書いた説明文を例示するとわかりやすい。 ・ PC、インターネットエクスプローラ、東京おもしろマップ ・ 相手を意識して説明文が作れたか。
10	3. 発表の練習をする 班で分担を決め、協力して発表できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表当日は東京おもしろマップに掲載された形で行うことを伝える。 ・ ゆっくりはっきりわかりやすいように発表ができているか。

*東京おもしろマップへの投稿

発達段階を考慮して子どもが行うか授業者が行うか判断する。

==手続き==

- 1) <http://teav.cside.com/tokyo> の「写真を送ってみよう」をクリック。
(検索サイトに「東京おもしろマップ」と入力し「検索」ボタンをクリックしてもよい)
- 2) 必要事項、説明文を入力して「確認画面に進む」をクリック。
- 3) 「参照」をクリックし写真ファイルを選択。
- 4) 「送信する」をクリック。約1週間で東京おもしろマップの各区市町村ページに掲載。

<第6時>

(1)ねらい

東京おもしろマップに掲載された内容を発表し、自分達の地域の特色を考える。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
20	1. 班ごとに発表を行う 東京おもしろマップに掲載された形 (プロジェクタで投影)で発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手を意識して発表させる。 ・ PC、プロジェクタ、インターネット エクスペローラ、東京おもしろマップ ・ わかりやすく伝えることができたか。
20	2. 「すてきな〇〇学区」について考える 発表を聞いて、自分達の住んでいる 地域にはどんな特色があったか考える。 東京おもしろマップでの他地域の様子 から、比べて考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1時を思い起こさせ、他地域と比べて どのような違いがあるか、同じところがある か考えさせる。 ・ 第1時と比較して深まりのある考えが できたか。
5	3. 今までの学習をふりかえって わかったことや感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的に書くようにさせる。 ・ 自分達住んでいる地域の特色を捉えら れているか。

4. 東京おもしろマップ

(2) 学区の取材, 投稿, 他校と交流

第4学年 社会科学習指導案

「私たちの東京都」

～自分たちの学区の様子を東京おもしろマップで伝えよう～

第4学年 社会科学習指導案

単元名：私たちの東京都～自分たちの学区の様子を東京おもしろマップで伝えよう～
--

1. 目標

- ① 東京おもしろマップを活用して自分たちの住む地域と他の地域との相違点に気づき、他校との掲示板での交流を通してその特徴を明らかにする。
- ② 掲示板での交流や東京おもしろマップの投稿を通して、相手に意図が伝わるように意識して自らの思いや考えを伝える。

2. 指導計画

1	<p><つかむ>東京都のいろいろな地域の様子を知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京おもしろマップを見て、東京都にはいろいろな地域があることを知る。 ・東京おもしろマップに載っている写真で、班ごとにテーマを決め、自分たちの地域にもあるものを探す。
課外	<p><とりくむ>東京おもしろマップに載せるために取材しよう</p> <p>班ごとに自分のテーマに沿ったものの取材をする。調べたい場所で写真やメモをとる。</p>
2	<p><とりくむ>自分たちの地域情報を載せよう</p>
3	<p>自分たちの住む地域の情報を取材したものをもとに、東京おもしろマップに投稿する。</p>
4	<p><とりくむ>地域の特徴を調べよう</p> <p>できあがった自分たちの地域のページを見て、もう一度他の地域との相違点を見つけ、交流校への質問等を考える。</p>
5	<p><とりくむ>情報を確かめよう</p>
6	<p>ほかの学校との掲示板での交流を通して、自分の投稿した情報に間違いや足りないものがないか、他の地域との違いは何か確認する。</p>
課外	<p><とりくむ>東京おもしろマップのデータをよりよいものにしよう</p> <p>交流によって自分の住む地域の特徴をより明確にできるような写真やデータをさらに集める。</p>
7	<p><とりくむ><ふりかえる>情報を確かめよう</p>
8	<p>自分の地域の特徴をさらに詳しくしたり、正しいものになおしたりして中身を充実させる。</p>

※1 事前に、東京おもしろマップ投稿および掲示板利用の申請を都小視研に行う。

==手続き==

学校長の許可を得てから、 sankakou@teav.cside.com に依頼メールを送る。

3. 各時間の指導案

<第1時>

(1)ねらい

東京おもしろマップで東京都にはいろいろな地域があることを知ることで、自分たちの住んでいる地域を調べ、自分たちの住む地域について投稿しようとする意欲を高める。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
15	1. ガイダンス 東京おもしろマップの東京都のいろいろな地域の様子を閲覧する。	<ul style="list-style-type: none"> 東京都内にはいろいろな特徴を持った地域があることを捉えさせる。 PC、インターネットエクスプローラ、東京おもしろマップ 関心を持って閲覧することができたか。
15	2. 課題をつかむ 自分たちの学区にもあるような特徴のあるものを見つけ、選んだテーマの中から、自分たちの地域にもあるものとして投稿するものを決める。	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの地域と比較して、同じところや似たところはないか考えさせる。 ほかの学校のページを参考にしていいることを伝える。
15	3. 事前調査の説明 自分たちの学区にもある投稿する内容について、投稿する上で気をつけること等を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 「調べカード」を配布し、どのように調べてくるか、投稿する上で必要なものは何かについて説明する。

<土日祝日、放課後>事前調査

- 学区内で、自分の調べるテーマにあったものについて取材する。自分たちの地域にもあるものとして意識できるようにする。
- 交通事故、不審者等への安全指導を事前に行っておく。

<第2・3時>

(1)ねらい

自分たちの住む地域の情報を取材したものをもとに、東京おもしろマップに投稿する。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
20	1. 写真を選ぶ 撮影してきた中から、相手に様子がわかりやすいものを選ぶ。	・ ほかの学校の投稿を参考にし、相似点がわかりやすいものを選べるようにする。
25	2. 説明文を考える 読む相手に伝わりやすいように意識してわかりやすい説明文を作る。	・ 東京おもしろマップで子どもの書いた説明文を例示するとわかりやすい。 ・ PC、インターネットエクスプローラ、東京おもしろマップ ・ 相手を意識して説明文が作れたか。
25	3. 互いに見合っ間違いや問題点がないか確かめる 写真や文章におかしいところがないか兄弟班で見合っ確かめる。	・ できた写真と文章を印刷して見合うとよい。 ・ 肖像権などについても意識しているか。
20	4. 東京おもしろマップに投稿する 投稿の仕方を身につけ、実際に投稿する。	・ 投稿する際の約束事について押さえておく。

*東京おもしろマップへの投稿方法

==手続き==

- 1) <http://teav.cside.com/tokyo> の「写真を送ってみよう」をクリック。
(検索サイトに「東京おもしろマップ」と入力し「検索」ボタンをクリックしてもよい)
- 2) 必要事項、説明文を入力して「確認画面に進む」をクリック。
- 3) 「参照」をクリックし写真ファイルを選択。
- 4) 「送信する」をクリック。約1週間で東京おもしろマップの各区市町村ページに掲載。

<第4時>

(1)ねらい

できあがった自分たちの地域のページを見て、もう一度他の地域との相違点を見つけ、交流校への質問等を考える。

(2)本時の展開（3時間繰り返す）

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
10	1. 自分たちの地域のページを確認する 掲載された自分たちのページを見て、投稿した情報が掲載されていることを確認する。	・ PC、インターネットエクスプローラ、東京おもしろマップ
20	2. 写真や文章を見比べて、相違点を見つける 相手校の写真や文章から読み取れる内容について、自分たちの住む地域のページと見比べ、小さな違いでも注目させる。	・ 掲示板を使う際のマナーについても指導しておく ・ 同じテーマでページを作ってみても、細かいところでの他地域との違いについて気づくことができるとうい。
15	3. 見つけた地域の様子の違いについてどこがどう違うのか、相手校に質問する内容を考える。	・ 相手に質問の意図が伝わるよう、写真を使うなどして質問が具体的になるよう指導しておく。

※交流校について

・ 交流校が見つからない場合は、知り合いの学校の先生、もしくはコンピュータに堪能な保護者、地域の方などを活用してもいいでしょう。

<第5・6時>

(1)ねらい

ほかの学校との掲示板での交流を通して、自分の投稿した情報に間違いや足りないものがないか確認する。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
30	1. 掲示板で交流する 交流校との掲示板への投稿や、相手からの意見をもとに、自分たちの地域のページについて説明を加えたり、必要な情報について考えたりする。	・ PC、インターネットエクスプローラ、東京おもしろマップ
15	2. さらに必要なものについて考える 情報を充実させるための取材計画を立てる。	・ 掲示板を使う際のマナーについても指導しておく
放 課 後 等	必要な資料を取材する	・ 相手の求めているものに答えられるよう、意図を明確に持って取材できるようにする。
	1. 掲示板で交流する 以前の交流を元に、修正点やさらに付け加えたい点について、掲示板での交流で考える。	・ PC、インターネットエクスプローラ、東京おもしろマップ

<土日祝日、放課後>事前調査

- ・ さらに詳しく調べるもの、様子がわかりやすい写真にするなど、調べる意図を明確に持たせて取材する。
- ・ 交通事故、不審者等への安全指導を事前に行っておく。

※交流校について

・ 交流校が見つからない場合は、知り合いの学校の先生、もしくはコンピュータに堪能な保護者、地域の方などを活用してもいいでしょう。

<第7・8時>

(1)ねらい

さらに情報を詳しくしたり、正しいものになおしたりして中身を充実させる。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
20	1. 写真を選ぶ 撮影してきた中から、相手に自分たちの地域の様子がわかりやすいものを選ぶ。	・ 自分たちの地域にしかないものという特徴がわかりやすい写真を選ぶようにさせる
25	2. 説明文を考える 相手が求めている情報が読み手に伝わりやすいように意識して、わかりやすい説明文を作る。	・ 詳しい情報、正しい情報が明確に伝えられるよう、文章を意識させる。 ・ PC、インターネットエクスプローラ、東京おもしろマップ ・ 相手を意識して説明文が作れたか。
25	3. 互いに見合っ間違いや問題点がないか確かめる 写真や文章におかしいところがないか兄弟班で見合っ確かめる。	・ 以前の内容との違いが明確に出ているか。 ・ 相手の求めている情報が的確に伝えられているか。
20	4. 東京おもしろマップに投稿する 今までのページを更新させ、さらに充実した情報が載せられるようにする。	・ 投稿する際の約束事について押さえておく。

*東京おもしろマップへの投稿方法

==手続き==

- 1) <http://teav.cside.com/tokyo> の「写真を送ってみよう」をクリック。
(検索サイトに「東京おもしろマップ」と入力し「検索」ボタンをクリックしてもよい)
- 2) 必要事項、説明文を入力して「確認画面に進む」をクリック。
- 3) 「参照」をクリックし写真ファイルを選択。
- 4) 「送信する」をクリック。約1週間で東京おもしろマップの各区市町村ページに掲載。

4. 東京おもしろマップ

(3) 地域で誇れるものを取材, 投稿, GT と交流

第5, 6 学年 総合的な学習の時間活動案

「発見！私たちの〇〇区（市, 町, 村）」

第5, 6学年 総合的な学習の時間活動案

活動名：発見！私たちの〇〇区（市，町，村）

1. 目標

- (1) 地域で誇れるもの，ことを見つけ，自ら学び，考え，よりよい記録を作り，他者に伝える資質や能力を高める。
- (2) 調べ方や学び方，ものの考え方を身に付け，問題の解決や探究活動に主体的，創造的に取り組もうとする意欲をもつ。
- (3) 地域の一員として，自己の生き方を考えることができるようにする。
- (4) 情報手段を活用しながら調査，記録することや，他者に分かったことを伝えたりアドバイスを受けたりするための知識，技能を身につける。

2. 指導計画（5時間）

1	<つかむ> ゲストティーチャー（郷土博物館員，地元詳しい教員，地域の人等）からガイダンスを受け，地域で誇れるもの，ことを発見する。→班作り。
*	<とりくむ>—夏休み，土日祝日，放課後
*	発見したもの，ことについて調べて記録（絵，写真，説明文）する。
*	*絵，写真は，情報等の時間で児童がPCに取り込むか，授業者が授業以外の時間に取り込む。（以後，取り込みの必要が生じたときは同様に行う）
2	<とりくむ> 調べて記録したもの（絵，写真，説明文）を東京おもしろマップの掲示板に投稿する。
*	—土日祝日，放課後に自宅で
*	ゲストティーチャーが，掲示板に投稿された内容についてアドバイスをする。
3	<とりくむ> ゲストティーチャーのアドバイスを読んで，修正点を考える。
*	<とりくむ>—土日祝日，放課後
*	必要に応じて，再調査し，記録（絵，写真，説明文）する。
4	<とりくむ> 修正点を掲示板で書きかえたり，再度調べて記録したもの（絵，写真，説明文）を掲示板に追加投稿したりする。
*	—土日祝日，放課後に自宅で
*	ゲストティーチャーが，掲示板に再投稿された内容について評価する。
5	<ふりかえる> ゲストティーチャーからの評価を読んだり，他班が投稿した内容を見たりして，自分たちの活動を振り返る。 地域で誇れるもの，ことを再認識し，地域の一員としてどのように生きていったらよいかを考える。

※1 事前に，東京おもしろマップ掲示板利用の申請を都小視研に行う。

==手続き==

・学校長の許可を得てから sankakou@teav.cside.com に依頼メールを送る。

※2 事前にゲストティーチャーを依頼し，班の数をおおよそ決めておく。

3. 各時間の指導案

*GT: ゲストティーチャー

<第1時>

(1)ねらい

地域で誇れるもの、ことを発見し、同じ対象を選んだ者同士で調査方法を相談する。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
20	1. ガイダンス 地域の特色あるもの、ことについてGTから説明を聞いたり、質問したりする。	・メモしながら聞くことを勧める。 ・PC+プロジェクタ(GT用) ・関心を持って聞くことができたか。
10	2. 課題をつかむ 地域で誇れるものだと思ったことを選び、調べる手だてを考える。	・個別にGTとの相談がし易いように、授業者が支援する。 ・主体的に調査対象を選べたか。
15	3. 調査の見通しを立てる 同じ対象を選んだ者同士で班作りをし、調査の方法について相談する。	・誰が何を選んでいるか、カードや板書で分かりやすくなるよう支援する。 ・協力して調査方法を決められたか。

<夏休み、土日祝日、放課後>調査、記録活動

- ・班ごとに現地に行き、調査、記録活動を行う。(絵、写真、説明文で記録する)
- ・交通事故、不審者等への安全指導を事前に行っておく。

<第2時>

(1)ねらい

地域について調べて記録したものを整理し、他者に伝わるような形にする。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
20	1. 調査記録を整理する 班ごとに、調べてきたことを整理し、説明文にふさわしい絵や写真を組み合わせる。	・東京おもしろマップの電子掲示板に、画像と文章を組み合わせ投稿することを知らせておく。
15	2. 調査記録を掲示板に投稿する 班の中で分担しながら、説明文と絵や写真をPCに入力し、投稿する。	・PC, インターネットエクスプローラ, 東京おもしろマップの電子掲示板
10	3. 投稿内容を確認, 修正する GTに読んで頂くことを前提とした言葉遣い, 内容になっているか確認, 修正する。	・調べた場所, 方法, 分かったこと, 疑問点などを区別しながら文章化することができたか。 ・説明文に適した絵や写真を選んだか。

<土日祝日、放課後>GTによるアドバイス

- ・各班が投稿した内容をGTに見て頂き、修正すべき点や書き加えたほうがよい点などについて返信して頂く。(GTのご自宅等で)

<第3時>

(1)ねらい

地域についてまとめたものを更により良くするための方策を考える。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
10	1. GTからのアドバイスを読む 修正すべき点や追加すべきことを個々にメモしながら読む。	・GTが私的な時間を費やしてアドバイスしてくださったことに留意させる。 ・PC, インターネットエクスプローラ, 東京おもしろマップの電子掲示板
20	2. 班でまとめる 個々に読み取ったことについて意見交換しながら, 班としての考えをまとめる。	・各々が主体的に発言し, 自分の考えを主張したり, 人の考えを取り入れたりすることができたか。
10	3. 再調査の計画を立てる 必要に応じて, 現地調査の計画を立てる。	・GTによるアドバイスに沿った調査計画になったか。

<土日祝日, 放課後>再調査, 記録活動

- ・班ごとに現地に行き, 調査, 記録活動を行う。(絵, 写真, 説明文で記録する)
- ・交通事故, 不審者等への安全指導を事前に行っておく。

<第4時>

(1)ねらい

地域についてまとめたものを更により良くするために修正, 追加を行う。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
20	1. 調査記録を整理する 班ごとに, 調べてきたことを整理し, 修正箇所, 追加内容を話し合う。	・再調査の計画に沿った内容になるように話し合えたか。
10	2. 修正箇所, 追加内容を投稿する 班の中で分担しながら, PCに入力し, 投稿する。	・PC, インターネットエクスプローラ, 東京おもしろマップの電子掲示板
15	3. GTへお礼の文章を添える GTのアドバイスのおかげで, 間違いを直したり, 新たな情報を追加したりできたことについてお礼の文章を投稿する。	・知識や技能を持った人(多くは大人)から学ぶときのマナー, 留意点を知らせる。 ・情報手段は上に同じ。

<土日祝日, 放課後>GTによる評価

- ・GTのアドバイスを受け班ごとに再調査したり, 情報を修正, 追加したりしたことについて, 掲示板上で評価して頂く。(GTのご自宅等で)
- ・児童一人一人が「地域の一員」であることを意識できるよう留意して頂けると有難い。

<第5時>

(1)ねらい

自分たちの活動を振り返り、地域の一員としてどのように生きていったらよいかを考える。

(2)本時の展開

分	学習内容	教師の支援・情報手段・評価
20	1. 他班の作品を見て良い点を学ぶ 自分たちの作品と比べて、特に優れていることを探し、カード等を書く。	・よいものをよいと感じ、それを表現できることの大切さを知らせる。 ・記入された内容が他者に伝わるよう、カードを掲示するなどの工夫をする。
10	2. GTからの評価を読む 自分たちの作品のよいところに気づく。 修正したり追加したりすることのよさを知る。	・地域について知ることのよさ、専門的知識を持った人との共同学習のよさを知らせる。
15	3. 地域の一員としての生き方を考える 地域で誇れるもの、ことを大切にすることのよさを考える。 主体は誰か、自分たちは何をしていけばよいのかを考える。	・地域の誇りは、そこに住む人たちが作り、守ってきたものであり、自分たちもその担い手の一部であることに留意させる。
	・PC, インターネットエクスプローラ, 東京おもしろマップの電子掲示板	・他地域の人たちに、地域で誇れるものを、ことを伝えようとする意欲をもたせる。

【オプション1】東京おもしろマップへの投稿

・地域で誇れるものについてまとめた内容（絵，写真，説明文）を東京おもしろマップの自分たちの区市町村へ投稿し，他地域の人にも見てもらえるようにする。

（インターネット上への公開なので，家族や親戚，他校の友達にも見てもらえる）

==手続き==

1) インターネット上への公開について学校長等の許可を得る。

2) <http://teav.cside.com/tokyo/> の「写真を送ってみよう」をクリック。

*検索サイトに「東京おもしろマップ」と入力し「検索」ボタンをクリックしてもOK

3) 必要事項，説明文を入力して「確認画面に進む」をクリック。

4) 「参照」をクリックし写真ファイルを選択。

5) 「送信する」をクリック。

…約1週間で東京おもしろマップの各区市町村ページに掲載されます。

【オプション2】学習発表会でのポスターセッション

・電子掲示板に投稿した内容を印字したり，ポスターに書いたりして，学習発表会でのポスターセッションに活用する。

・学習発表会当日に，ゲストティーチャーに来て頂き，各班の発表に対し感想を書いて頂けると効果的。

<ゲストティーチャーの依頼について>

1. ゲストティーチャーへの依頼は大きな負担！？

今までしていないことを開拓することは確かに大変ですが、学校と地域のゲストティーチャーが手に手を携えるという関係を一度作り上げると、総合的な学習の時間はもとより、3～6年の社会科においても大きな財産になっていきます。誰かが一度なしえれば、あとはゲストティーチャーと学校の良い関係を保っていけばよいのです。

2. ゲストティーチャーとの出会い

(1) 郷土資料館（博物館）へ

地元についてよくご存じの方といえば、郷土資料館（博物館）においでになる可能性が大です。そして、館員の方はたいてい豊かな人脈をお持ちです。館員ご本人以外にもゲストティーチャーをご紹介くださることが期待できます。

いきなり郷土資料館（博物館）を訪問することに気が引けたら、校長、副校長、ベテランの教諭に相談してみてください。特に、その市区町村に長く勤務する教員でしたら、何かしらの接点があると思います。

(2) コンピュータ操作の必要性

今回ご紹介した指導計画では、電子掲示板を使うことにより、ゲストティーチャーに何度も学校において頂かなくても、アドバイスを頂けるよう工夫しました。電子掲示板は、インターネットでホームページを見たり、簡単な文字入力ができれば、どなたでも利用できます。どうしてもキーボードやマウスは使えないというゲストティーチャーでしたら、FAXを活用することも考えられます。

ただ、郷土資料館（博物館）の方は、その必要性もおありなのか、インターネットで検索したり、メールを打ったりすることは、お年を召された方もあまり苦にされないようです。ご参考まで。

3. 都小視研もお手伝いさせていただきます

(1) 電子掲示板の利用について

sankakou@teav.cside.com まずはこちらにご連絡ください。

電子掲示板をご用意させて頂き、パスワードも設定致します。パスワードにより、第三者が掲示板を荒らすようなことはありません。ご安心ください。

(2) 都小視研メンバーもアドバイザー

都内各地に勤務する都小視研メンバーもアドバイスをさせていただきます。深い専門知識はありませんが、目と耳で知ることができること、足で稼げる取材なら可能な範囲でお手伝いします。上記アドレスにご一報を。

